

学習習慣の形成をめざして

— 家庭学習の動機づけを通して —

目 次

I	テーマ設定理由	29
	研究構想図	31
II	研究内容	33
1	学級経営	33
(1)	学級経営の意義	33
(2)	学級経営の内容	33
2	学習習慣をめざす基本的な考え	34
(1)	学級経営と学習指導	34
(2)	授業成立の要因	34
(3)	学習意欲	34
(4)	動機づけ	34
(5)	生活習慣と学習習慣	35
3	家庭学習の動機づけを図る指導	35
(1)	家庭学習のとらえ方	35
(2)	家庭学習の記録について	35
(3)	指導方法	36
(4)	指導の工夫	37
4	家庭学習の指導を生かす学級経営	38
(1)	特別活動への実践	38
(2)	教科指導への実践	40
(3)	学級経営案の試作	43
(4)	家庭学習の手引書の試作	45
III	まとめと今後の課題	45
	<参考文献>	46

宜野湾市立志真志小学校

志堅原 敦 彦

学習習慣の形成をめざして

— 家庭学習の動機づけを通して —

宜野湾市立志真志小学校教諭 志堅原 教彦

I テーマ設定の理由

学級は、個々の児童にとって学校生活の中心的な場所である。児童一人ひとり、学級という場を通して、教師や友だちと触れ合いながら、学習活動やさまざまな体験を深め成長していくものである。学級の中には、学習に意欲的ではあるが継続的にできない子、静かにしているが学習の深まりが持てない子、学習意欲のない子など、個性の違う子ども達が集まっている。さらに教師は、学級内の一人ひとりの児童が、授業の中では意欲的に活動し学び合い、効果的な学習活動が展開できるよう図ろうと努力している。

自分自身も日々の学習活動が定着するようお願い、成就感や充実感が味わえるようにと考えた学級経営をめざしてきた。これまでも、学習意欲の高揚や学習習慣の定着をねらい、家庭学習・学級通信・自作教具などを通して実践を試みてきたが十分な深まりが得られなかった。

これまでは、学年度初めに学習意欲や学習習慣が身につくようにと考えて、計画的な指導を試みってきたが学期末になると児童の活動も低下して、次の学期に再び呼びかけたりするなど継続した活動にならなかった。その原因を考えると、

- ① 学級担任として、児童の家庭学習の様子を十分知らなかった。
- ② 児童へ主体的に取り組ませるための手だてが不十分だった。
- ③ 児童一人ひとりの学習習慣に応じた的確な助言を与えることができなかった。
- ④ 学習の習慣化をねらった動機づけが少なかった。

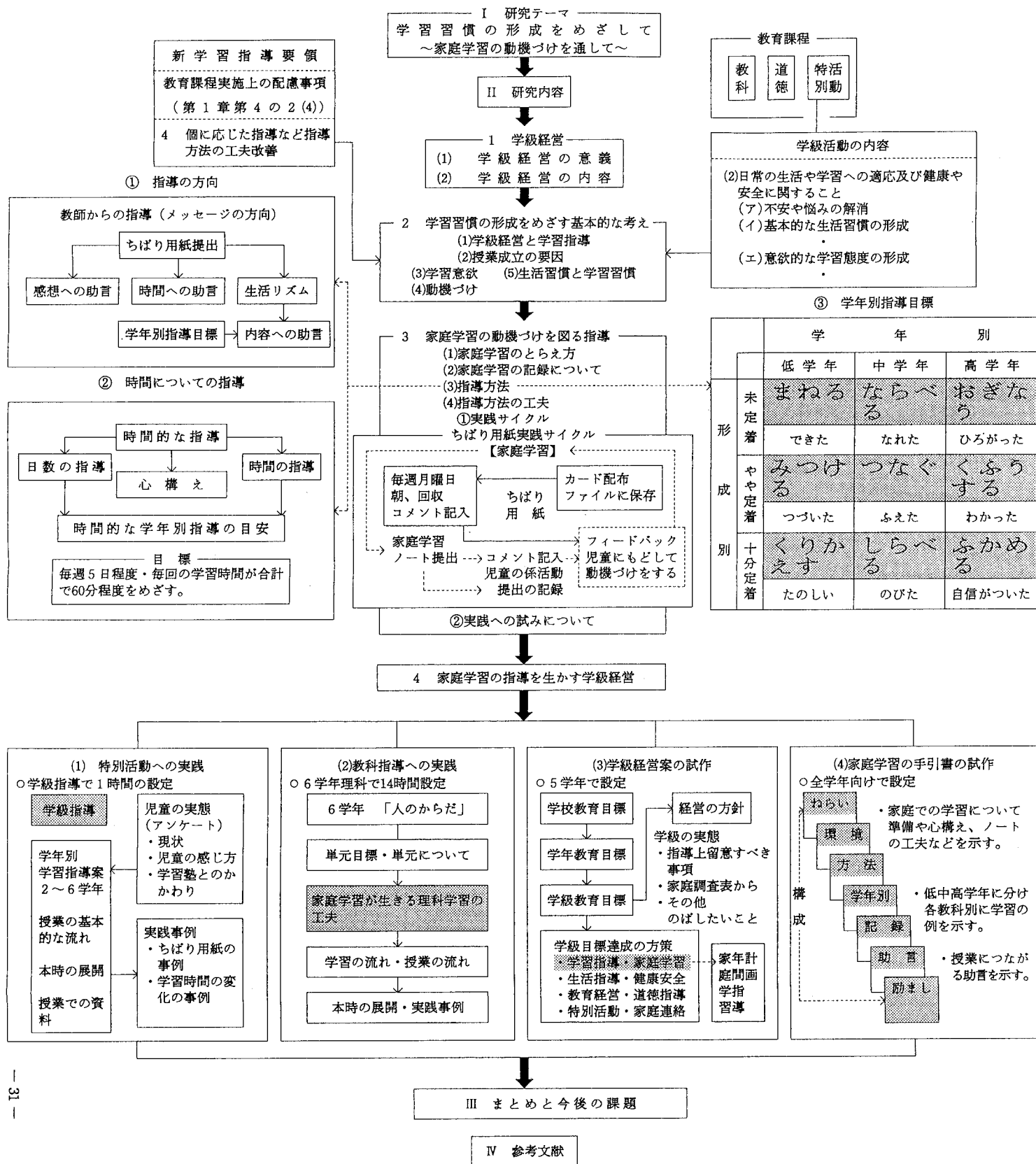
また、児童の声を拾ってみると、学級での学習活動に加えて家庭での学習も必要を感じ、家庭学習をやろうと努めていることが感じられる。しかし、家族で協力をしたり、目標が持てなかったり、教師からの手引を求めている様子がある。

これらのことから、家庭へつながる子どもの学習習慣の動機づけをし、授業での学習活動へのバックアップとしての指導が重要になってくるのではないだろうか。そこで、自主的な学習としての家庭学習の理論研究をはじめ、動機づけの工夫と実践を深め、今後の学級経営に生かせる研究が必要と感じ、上記のテーマを設定した。

研究内容の構造図

研究を進めるにあたっては、研究内容や実践結果を整理し、全体を把握するために研究内容を構造図に表してみた。理論研究から実践研究までの流れを振り返りながら、研究を深める上で大変役に立つ方法であった。

研究の全体構造図



II 研究 内 容

1 学級経営

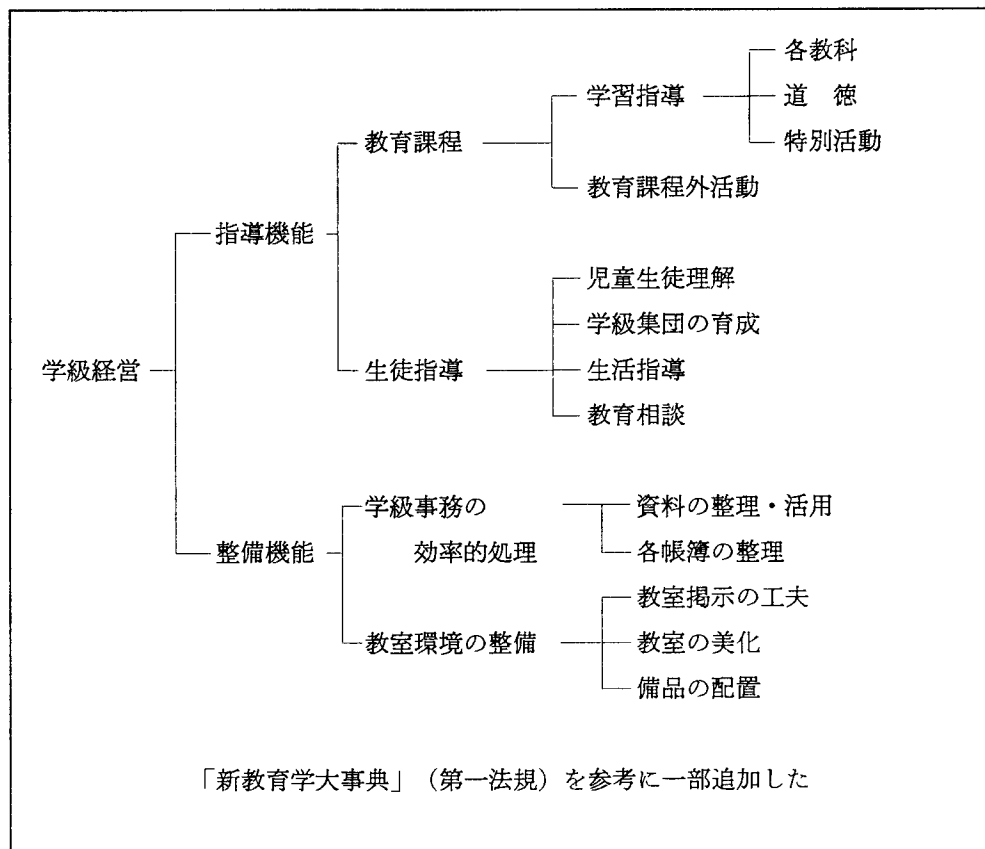
(1) 学級経営の意義

学級は、学校における組織の基礎的単位であり、学校教育目標の効率的実現をめざし、運営と展開を図る場である。学級経営は、教育目標の実現のために、学級担任が計画をし促進するための意図的な教育的配慮のすべてを指している。そこで学級担任は、必要な条件を整え運営していくことによって、児童一人ひとりの個性や能力を伸長するために、最大限努力をし、教育効果をあげていく必要がある。

(2) 学級経営の内容

学級経営の内容は、学校教育目標のもとで営まれる学級の教育活動全体と捉えることができるが、「学級教育のための条件整備の仕事（狭義）のみならず、学級における学級担任の機能（広義）へと拡大してとらえる」（新教育学大事典）のが一般的とされている。

主な学級経営の内容として、次のようにまとめた。



2 学習習慣の形成をめざす基本的な考え

(1) 学級経営における学習指導

学級経営の内容は、その機能によって多岐にわたる仕事を見いだすことができる。学習指導は、学級経営において学級目標を達成させる方策のひとつとして、生徒指導などと共にあげられる。そして、学級経営案の中へと位置づけられていく。また、学習指導は、教育課程において、各教科・領域全体におよぶ指導として考えられる。

さらに、児童一人ひとりの学習指導に焦点を当てると、新学習指導要領においては、教育課程実施上の配慮事項として「4 個に応じた指導など指導方法の工夫改善（第1章第4の2(4)）」で取り上げられている。さらに、実践にあたっては、特別活動の領域での学級活動の内容「(2) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること」の中で、「(エ)意欲的な学習態度の形成」として扱っている。しかしながら、学級経営の中で家庭学習の指導を考えると、特別活動に限らず教科指導・日々の教育活動など、個々の児童が意欲をもって学習へ臨んでいける配慮が求められる。

(2) 授業成立の要因

授業は教育課程にもとづく教材内容を計画的に設定し、それらを児童が能動的に学び取り、習得していく過程としてとらえることができる。授業が成立するためには、学級経営はその基盤となってくる。そして教師が果たす役割は、

① 授業改善・・・学習方法、指導技術、教材教具の開発など。

② 意欲づけ・・・学習習慣の形成、助言、賞賛、相談的指導など。

が、考えられる。中でも、意欲づけは学級経営全体を通しての指導が必要であり、学習指導では深い意味を持つことになる。

(3) 学習意欲

学習意欲は児童が学習活動に対して主体的・自発的に取り組んでいこうとする欲求、あるいは意思であると捉えることができる。学習意欲が表れている時の児童は学習に集中している、持続している、一度学習活動が止まっても再び学習に向かっている、などの姿で知ることができる。

学習意欲の要因となるものには、学習への興味・関心や達成、克服などがあげられるが、主に、児童の内面的な欲求によって駆り立てられるものと考えられる。さらに、自発的な活動へ結びつくためには、基本的な欲求もまた満たされていく必要がある。基本的欲求には、生理的欲求の他に、学習へ結びつくものとして、愛情・所属・成就・独立・承認などがある。こうした要因によって学習意欲が育っていくのである。そして児童の学習意欲が高まっていく内発的な動機づけの方法や手だてを考えることによって、指導もより具体的なものとなってくる。

(4) 動機づけ

学習意欲を育てる指導をより具体的にするのが動機づけの役割で、学習習慣を形成していく上でも、児童の自発的なものとなる内発的な動機づけの方法を工夫することは重要になってくる。

内発的動機づけは、報酬や罰則などと異なり、興味や関心などを誘ったり、目標やめあてを持たせたり、成功を知らせることや励ましなどを与えていくことである。こうした動機づけを進めることによって学習指導に限らず、生徒指導においても内発的動機づけの性格に基づく指導の方法が有効になってくるのではないだろうか。

(5) 生活習慣と学習習慣

児童の生活リズムは、学校生活にあっては、日課表・時間割表などによって定時の行動が定められている。家庭生活にあっては、各家庭の生活様式によって異なり児童の行動も強く影響を受ける。児童の生活習慣は、学校での生活リズム、家庭での生活リズムの中から、児童の発達段階や親子関係の影響を受け、形成されていく。

学習習慣は、児童が身につけた生活習慣の中で形成されるもので、児童の生活リズムの中において受ける要因と、児童の気質や能力による要因が合わされて形成されるものである。したがって、児童に学習習慣を身につけさせるには、

- ① 児童の気質や能力などの特徴を知ること。
- ② 児童の生活リズムなどを知る手がかりを持つこと。
- ③ 動機づけによって、児童に意欲をもたせること。

が、教師の立場からは必要と考えられる。

学級経営における学習習慣の指導にあってはさらに、授業を成立させていくための意欲（動機）づけもまた必要であり、児童の特徴や生活リズムを知ることによって学習習慣の形成へ向けた指導・助言が可能になってくると考えられる。

3 家庭学習の動機づけを図る指導

(1) 家庭学習のとらえ方

学級経営においては、その内容として学習指導がある。すなわち、授業が中心であると言える。家庭学習はその学習指導の支えとなる。しかし、学級と家庭との間には、児童の「生活」があり児童は「生活」の中で、学び・学習を深めていく。そして、いろいろな思い出をもって大人になっていく。家庭学習は、学習指導方法によりとらえ方に違いがあるものの、学校での授業をもとにして、予習的・復習的・計画（課題）的な学習となっていく。しかし、これらをふまえてもっと広い視野をもった、児童自ら学ぶ喜びを動機づけるものでありたい。

こうした家庭学習の基本的な考えのもとに学習活動のバックアップと児童が自分を振り返りながら、教師と児童を結ぶものとして家庭学習をとらえたい。また、家庭学習の性格を次のように設定してみたい。

- ・教師－児童－家庭（親）とのつながりをもつ場面づくりをめざす。
- ・生活リズムを感じ取る場面にする。
- ・授業の支援をめざす。
- ・学ぶ楽しさを学ばせる。

(2) 家庭学習の記録について

家庭学習の記録をしていくために一週間単位としたカードを作成し、児童の実態を知るとともに、助言を与える機会を用意する。カードの名称を「ちばり用紙」とした。

「ちばり」とは、沖縄の方言で「がんばり」を意味する言葉である。この「ちばり用紙」で重視したことは、

- ・時間的な変化によって日々の生活リズムを知る。
- ・週初めのめあてによって心構えをもつ。
- ・日々の感想、週終わりの感想によって自己評価をする。
- ・児童と教師の言葉のやり取りで、個別的なつながりをもつ。

である。

(3) 指導の方法

① 指導の方向

家庭学習をノートや記録が児童から教師への一方通行にならず、また教師から児童への一方的な課題として与えるだけでなく、児童個人の実態や生活を見ながら、ゆっくりとした指導につながっていくためには、指導の方向を教師として持っていることが必要である。教師からの指導つまり教師からのメッセージをどう促していくかの方向づけを考えてみた。「ちばり用紙」が未記入で提出される児童と、幾らかの言葉が記入されてくる児童とがあると考えられる。その際、時間的な指導に偏らず毎日の感想からスタートし、児童の実態や生活を見ることによって指導の方向を考え、時間的な指導に進むのか内容的な指導か、目標的な指導になるか教師が判断して個別に助言を与えることが可能になってくるのではないだろうか。

② 時間についての指導

時間的な指導も幾つかが場合が考えられる。個々の児童によって、数日間続けることが喜びにつながる場合と、1回の学習時間を10分でも伸ばすことが喜びにつながる場合があるだろう。このようなことから、指導もどちらの方向を育てるか見えてくる。しかし、最終的な目標も必要であるので、個々の差はあるだろうが、基本的に毎週5日程度、毎回の合計で60分程度おいて指導してはどうだろうか。教師の留意点として、「認める」「ほめる」「追いつめない」「焦らない」の四点をもって指導にあたりたい。これは、家庭学習が児童の自発的な学習としての性格をもち家庭生活においておこなわれるという内容のものであるために教師が強制的にならないことを心構えとしたいからである。

時間的な指導は、児童の「できた喜び」「目標を見いだす手がかり」として児童に返し、家庭学習自体を長期的な指導ととらえることによって児童との接し方も違ってくるものと思う。ところで、時間的な指導にも発達段階を考えると、家庭学習習慣の形成の段階に応じた目安をもうけることも可能になる。目安として考えられる時間は、日々の家庭学習の合計時間と見ることもできるし、1回の学習時間と見ることもできる。また、児童のできばえによっては延長の度合を考えることもできる。

③ 学年別指導目標（ノート指導のめやすとして）

家庭学習の内容の指導にあたる時、教師はどの程度の視点をもてばよいだろうか。家庭

学習はどうとらえるかによって違いがあると考えられるが、学校での授業を支えながら、あるいは授業からの発展していくものと考えすることで段階的な指導の目標が設定可能となってくる。指導目標を具体的に言葉にすると、

- ・低学年 「まねる－みつける－くりかえす」
- ・中学年 「ならべる－つなぐ－しらべる」
- ・高学年 「おぎなう－くふうする－ふかめる」

さらに、

- ・低学年 「できた－つづいた－たのしい」
- ・中学年 「なれた－ふえた－のびた」
- ・高学年 「ひろがった－わかった－自信がついた」

こうした指導目標をもって児童の実際の家庭学習を見ることにより、具体的な指導が可能になってくると考えられる。そしてそれぞれの目標にもとづいて学習の内容の方向づけをしてみると、上記の目標から導かれる観点を整理することができる。学年別指導目標は低・中・高学年と家庭学習態度の形成から分けた表になっているものの、個々の児童がどの段階にあるか当てはめると、必ずしも学年別にはならず、個別の程度によって助言が可能である。

※① 指導の方向・② 時間についての指導・③ 学年別指導目標は、図表化して資料に掲載

(4) 指導の工夫

① 実践サイクル

実際の学級経営の上では、「ちばり用紙」の提出と家庭学習との結びつけは、ひとつのサイクルをもつことによって、能率的に進めていく必要がでてくる。学校生活のサイクルから考えて、毎週の始めの月曜日に設定すると、「ちばり用紙」とノートが流れに沿って実践されていくということになる。教師は、毎週1回のカードへの助言、週に数回（学級や学校の実状によって）のノートへの助言という場面を通して児童への言葉かけが可能となる。また、カードの印刷は別として、配布・回収、ファイルへのつづりなどの作業は低学年のうちからでも児童の活動として設定できる。また、担任教師の工夫によって、日付印や絵入りスタンプ等の用意もできる。

※① 実践サイクルは、図表化して資料に掲載

② 実践への試みについて

実践を試みるとき、家庭学習についての指導がおこなえる機会が日々の学校生活の中でいくつかの場面があると考えられ、今回の研究では、4つの場合を設定した。

○単位時間を設定して授業中に行おうとしたとき……………学級指導

○教科あるいは一つの単元の指導中に行おうとしたとき……………教科単元指導

○年間を通した学級経営の中で行おうとしたとき……………学級経営案

○児童一人ひとりに与える指導の中で行おうとしたとき……………家庭学習の手引書

以上の場合である。この中から、学級経営案と家庭学習の手引書については試作の形で取り組むこととした。

4 家庭学習の指導を生かす学級経営

(1) 特別活動への実践

特別活動の中には、学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事がある。その中の学級活動において、さらに学級指導の場面を取り上げて1時間の授業を設定した。実践にあたっては、2学年から6学年までの学年から1学級ずつ協力学級を依頼して協力を得た。

① 児童の実態

実践に先だって、協力学級の児童の実態調査をアンケートによっておこなった。そして次のような実態をつかむことができた。

家庭学習	<ul style="list-style-type: none">・低学年は毎日やっており、学年が進むとかえって少ない。・楽しい子は低学年に多く、学年が進むにつれてふつうの気持ちの子が多くなる。
学習場所	<ul style="list-style-type: none">・自分の机で学習している子はとても多い。・食卓やいろいろな場所で学習する子もいる。
学習経験	<ul style="list-style-type: none">・家族や先生にほめられたとき家庭学習が楽しくなる。・時間の量やテストでの高得点によって楽しくなる。・家庭学習のノートはほとんど用意してある。・ノート3ページ以内の量がほとんどである。
学習補助	<ul style="list-style-type: none">・家族の付添いは低学年は多い。・学習のしおりを持っている子は少ない。

以上の実態をもとに学習指導案を作成し実践してみた。

※グラフなどを資料に掲載

特別活動学習指導案

実施日時 1990年11月29日～12月7日

実施学級 宜野湾市立志真志小学校

2年3組(38名) 3年3組(40名)

4年5組(41名) 5年5組(37名)

6年6組(36名)

授業者 宜野湾市立志真志小学校教諭 志堅原敦彦

●主 題 家庭学習の動機づけを図る学級活動 (1時間)

2学年 「家庭学習をやってみよう」

3学年 「家庭学習を続けてみよう」

4学年 「家庭学習でやったことを発表しよう」

5学年 「家庭学習を工夫してみよう」

6学年 「家庭学習の悩みを話し合おう」

●ねらい 家庭学習が負担感のあるものではなく、学習を楽しくしていく支えになることを知る。また、方法を工夫していくことによって楽しくできることを知り、実践につなげる。

2学年 「家庭で学習することの良さ、大切さを気付かせる」

3学年 「継続的な学習が授業の助けることを知る」

4学年 「他の児童との学習方法の違いを知り、お互いの努力を認め合う」

5学年 「学習の理解を助ける学習方法の工夫をつかむ」

6学年 「小学校生活を振り返り、学習の方法や対策を話し合う」

●授業の基本的な流れ

○授業にあたって

家庭学習の指導を授業時間の中で行う場合、個別指導が十分にできないので児童の実態をとらえて、TPなどの資料を示したり、互いの経験を発表させたりすることやアイディアを紹介し合うことによって意欲をうながす。また、教師から標語や記録用紙(ちばり用紙)などを使わせることによって指導がおこなえる。

○基本的な流れ

上記の主題やめあてのもとに、生活経験をふりかえりながら、児童の家庭学習の経験を取り上げていく授業展開が考えられる。

●本時の展開例

○主 題 家庭学習の動機づけを図る学級活動 (1時間)

○ねらい 5学年 「学習の理解を助ける学習方法の工夫をつかむ」

	児 童 の 活 動	指 導 の 留 意 点	資料・準備
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の話聞いて本時の計画について知る。 ・5年生生活についてふりかえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活と家庭生活をふりかえりながら、学習面を意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・軽いゲームなどで雰囲気をやわらげる
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの家庭学習の様子をふりかえる。 ・家庭学習を工夫した経験や成功した経験を発表する。 ・楽しく進めるにはどうするか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果をもとにしてみんなの現状を見せる。 ・量的（時間、枚数）質的（予習、復習、自由、書き方、色）あるいは精神的なこと。 ・ちばり用紙の性格を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料、アンケートの数値をグラフなどにして示す。 ・板書 ・TPシート
作 業	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちばり用紙」をファイルにつづり、表紙を貼って記名する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの「ちばり用紙」と新しい用紙をつづらせる。 ・作業の遅い子に注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイル、ファスナー、のり、表紙、ちばり用紙
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・記入例を見ながら、めあてや感想の持ち方を知る。時間や記録方法を知る。 ・提出の仕方や実際にめあてを立てて、実践の準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TPを見ながら、記入方法をいねいにつかませる。 ・具体的に書かせる。 ・標語で意欲を高めていくように語りかけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・OHP ・標語パネル

③ 授業の結果（資料参照）

授業をおこなった結果、児童はこれまでの家庭学習の様子を学級全体と比較して見ることができたようである。授業によって得られたことをまとめてみると次のようになる。

- ・記録用紙（ちばり用紙）の使い方がよく伝わった。
- ・ファイルを用意してつづらせたので、児童自身や担任も家庭学習の様子がつかみやすくなった。
- ・授業によって協力学級の児童とのつながりができ、廊下や外であったときにも家庭学習の話題が出るようになった。
- ・個人の変化を見てみると、1ヶ月ほどして自分で時間や科目を気にしながら記録するようになった。
- ・未提出児童への声かけのきっかけができた。

今回は協力学級での実践であったが、年間を通して進めると効果が期待できそうである。また、児童の中には学習塾や稽古ごとに通う子も多く、家庭学習の時間の取り方で児童は工夫が必要となっていた。

(2) 教科指導への実践

教科の中からは現在理科専科を担当しているので、6学年理科を選んだ。教科の中で家庭学習を生かすには次のことが考えられる。

- ・授業時間ではできにくい図表の完成。

・学習ノートや教科書へ調べたことを追加する。

・興味や関心を発展させる、児童個人の学習。

などである。特に、理科学習においては科学的思考力を伸ばすためには、自発的な学習や個別学習が求められている。今回の実践では、図表の完成や色ぬりを主体としたワークシートを作成し、家庭学習によって興味・関心を高めようとねらった。

① 学習指導案

理 科 学 習 指 導 案

実施日時 1991年2月1日～3月11日

実施学級 宜野湾市立志真志小学校

6年2組(37名)

6年4組(37名)

授業者 宜野湾市立志真志小学校教諭 志堅原教彦

●単元について

生物は、環境に適応することによって、さまざまな種の分化が進んできた。人体もまた地球環境に適応した体を持っている。酸素・二酸化炭素のガス交換栄養分の確保、体液の循環、骨格筋肉の形成、神経系の発達など機能によって分けられ、これらが総合的にバランスを保って生命が維持されている。

児童は日常の生活体験において、人体のつくりやしぐみを意識することは少ない。しかし、人体の機能を体の外から、あるいは、他の動物をモデルにして確かめてみるができる。このことによって人体もまた生物の一員として知ることができる。

本単元では、新学習指導要領への移行期における挿入事項も含め、生物環境まで意識づける単元計画を試み、自ら進んで「人のからだ」を学んでいく態度をめざしたい。

●単元目標

知識・理解・運動すると、呼吸数が多くなったり、心臓の心拍数が多くなる。

- ・人は、肺で空気中の酸素の一部を血液に取り入れ、血液から二酸化炭素と水を出すこと。
- ・血液は、心臓のはたらきで全身を回りながら、酸素や二酸化炭素や水などを運ぶはたらきをしていること。
- ・食べ物は、歯でかみ砕かれ、消化管の中を通る間に消化液によって消化され、養分として吸収されたり、ふんや尿、汗として排出されたりすること。
- ・人体は骨によって支えられ、筋肉のはたらきでからだを動かすことができること。
- ・人がからだに取り入れる食べ物・酸素・水や、排出するふん・尿・汗・二酸化炭素・水などは、人のまわりの動物・植物・空気・水などの環境と深くかわりがあること。

実験観察の●石灰水を使って、はき出す空気には、吸いこむ空気より二酸化炭素が技能多い。
技能

- 肉片またはジャガイモ片が、うすい塩酸・うすい過酸化水素水などの模擬の消化液によって消化されるようすを調べることができる。

科学的思考●運動後に現れるからだの変化をもとに、からだのしくみやはたらきについて考えることができる。

- からだが曲がる部分のようすを調べ、骨・筋肉・関節などの関係をまとめることができる。

- 人のからだの各部が総合的なつながりであることに気づく。

- 人のからだとまわりの環境との関わりを知り、関係をまとめることができる。

関心・態度●人間のからだのつくりやはたらきについて関心を深める。

- 調べたことをノートにまとめる態度を養う。

- 人間のからだとまわりの環境との関係について関心を深める。

●家庭学習と理科学習

理科学習においては、児童の生活経験・先行学習といったすでに学習されたことを出発点にして単元の学習内容を深めていく場面が多い。そして、実験や観察を通して自然に触れ、科学的思考を深めていく。

こうしたことから、一単元の学習内容の深まりを、単位時間ごとの時間内で求めるには、児童が自ら調べたりまとめたりする学習の方法が必要となってくる。家庭学習では、児童の学習習慣の定着度合によって目標を持たせつつ、単元学習で学んだことに追加・補習等ができるように助言できる。

本単元では、「人のからだ」という児童の生活と最も密着した課題であり自ら学習に追加や補習等をおこなえば、より学習を深めることが期待できる。

理科の学習ノートに加えて、形成的評価を兼ねた家庭学習の課題（作図の作業など）を与えることによって、具体的に試みてみることにした。

●単元指導計画（14時間） ☆本時は第Ⅴ次⑨時間目

次	時	学 習	学 習 内 容	指導の留意点	教科書	ノート
I	1	導 入	①生活経験と家庭学習	進め方を知る	P,	P,
II	2	呼 吸	②息の正体（息の石灰水の白濁実験） ③ガス交換と肺のしくみ （VTR－①の前半）	・石灰水、ビニール袋を用意する。	56～59 60	35 36
III	3	心臓と血液 プリント配布	④脈と心音（体の脈の場所探し） （聴診器で心音を聞く） ⑤血液の流れ（VTR－①の後半） ⑥心臓のしくみ ☆形成的評価（作図）	・自分の体に触れる。 ・OHPを利用して図で示す。	61 62～63 62～64	37 40 40

次	時	学 習	学 習 内 容	指導の留意点	教科書	ノート
IV	2	食べ物と消化 プリント配布	⑦消化液（肉と塩酸／過酸化水素水による消化の実験） ⑧消化管のしくみ（VTR-②） ☆形成的評価（作図）	・臭いに注意 ・廃液はバケツに回収する	65 66～67	41 46 45
V	2	骨と筋肉 プリント配布	⑨うでの骨と筋肉（うでの模型による実験） ⑩骨と筋肉のつくり（VTR-③） ☆形成的評価（作図）	厚紙とゴムで模型を制作しておく。 ・自分の体に触れて骨格を確認させる。	68～69 70～71	47 48 48
		プリント配布	⑪人のからだのつくりとまとめ ⑫人と、動・植物 ⑬人と地球環境 ☆形成的評価（作図）	・人体模型による説明 ・現在の環境から説明する	72～73 74	49 54 55
VII	1	単元まとめ	⑭単元テスト☆総括的評価（ノート）	・ノート提出	—	—

② 実践の結果

今回は教師の側から家庭学習の課題という形で与えたが、児童にとっては不完全な図を完成させることによって、興味・関心がわいたようである。また、色をぬることも児童は喜んで取り組んでいるようである。家庭学習の方法として、ノートやプリントを自分なりに工夫して自分に分かりやすいように仕上げることも有効と思われる。今回は理科学習ノートに貼り付けさせたが、家庭学習ノートに貼り付けることも考えられる。

(3) 学級経営案の試作

学級経営案は、担当の学級をもっていないので、特別活動の実践で協力を得た学級から5学年をモデルにして試作を試みた。学級教育目標達成の方策として学習指導の一部に家庭学習の指導を加え、年間指導計画を立ててみた。

第5学年 学級経営試案

学校 教育 目標	○仲よく助け合う子 ○よく考え進んで学ぶ子 ○明るく強い子	学年 教育 目標	○相手の気持ちを考えて行動する子 ○すじ道を立てて自分の考えがはっきり言える子 ○めあてを持ちねばり強くがんばる子
学級 教育 目標	○明るくみんなで心を支え合う子 ○めあてを立てて工夫して学ぶ子	のばしたいこと、なおしたいこと ○明るい雰囲気のある学級にし発表を多くさせたい。 ○家庭学習を意欲づけ、学習を活発にさせたい。	

学級の実態

○地域別在籍数

地域	宜野湾	長田	我如古	真栄原	合計
男子	8	7	2	2	19
女子	8	5	4	1	18
合計	16	12	6	3	37

○指導上留意すべき点

- ・学習上の問題 進んで発表ができない
家庭学習が十分でない
- ・行動、性格 男女の仲が良い。
女子がおとなしく消極的。
- ・健康 全体的に健康である。

○家庭調査表から

- ・学習場所 机(22) 食卓(7) 畳(2)
- ・家庭学習 毎日(3) だいたい(10)
ときどき(18) あまり(5)
ぜんぜん(3)
- ・テレビ 30分(1) 60分(2)
90分(16) 120分(13)
120分以上(4)
- ・学習塾 行く(12) 行かない(24)
- ・けいこ 行く(27) 行かない(10)
- ・こづかい 決めている(8)

学級教育目標達成の方策

- 学習指導 グループ学習や個別学習など
学習に変化をもたせる。
家庭学習の指導をおこなう

年間指導計画の作成

- 生活指導 あいさつを多くしていく。
物を大切にする。
- 健康安全 身の周りを清潔にする。
休憩時間の安全をうながす。
- 教室経営 装飾や掲示物を定期的に替えて
変化をもたせる。
道具や教具を整理する。
- 道徳指導 学級の人間関係を高め、協力し
合い、認め合う雰囲気をつくる
- 特別活動 係活動を見直し、学級に必要な
係を考えさせる。児童会への参
加を積極的に進め、行事などに
進んで取り組む。
- 家庭との
連絡 定期的に学級だよりを発行し学
級の様子を知らせる。

学習指導（家庭学習）年間指導計画									
月	一 学 期			月	二 学 期			月	三 学 期
4月	☆自分の学習のリズムを知るとともに学習のめあてをもたせる	○家庭学習のノートを用意させる。 ○記録のつけかたやファイルの準備をさせる。 ○家庭にも知らせる			9月	☆ノートを工夫しながら楽しい学習をめざす。	○楽しいノートの例をしめす ○ファイルを整理して記録用紙を補充する		
5月		○係活動の中に家庭学習ノートの提出記録を入れていく ○よい例を知らせる			10月		○個別指導の機会をつくり家庭学習のやり方を話し合う ○伸びてきた子を紹介する		
6月		○記録の変化やめあての例を知らせる ○個別指導の機会をつくり家庭学習のやり方を話し合う			11月		○工夫した学習を紹介する ○記録の変化やめあての例を知らせる		
7月		○一学期の様子を知らせる ○授業との結びつきを話し、二学期につなげる			12月		○二学期の様子を知らせる ○家庭への紹介の機会をつくる		
							年間目標	○家庭学習のめあてを持たせる。 ○学習のリズムを意識させる。 ○ノートの工夫をさせる ○学習方法をつかませる	

(4) 家庭学習の手引書の試作

家庭学習を児童のものにするためには、児童が家庭で学習を進めていてその指針や方法を手がかりとするものが必要となる。実態調査の中でも中学年あたりからはほとんどひとりで家庭学習をするという姿が見られ、高学年では学習の手引書を求める解答も得られた。そこで全学年を対象にした手引書を試作してみた。試作のポイントは、家庭学習の準備や心構え、ノート
の工夫を示したこと。低中高学年ごとの学習内容の例を示したことである。内容は次のように
組み立てた。（手引書の内容構成を資料に掲載）

ねらい	・家庭学習は基本的な学習方法を身につけるために、読むこと、書くこと、計算 すること、調べることを中心にすすめること。
環境	・何を学習するか、小さくても自分で課題やめあてを持てるようになること ・学習できるように、身の周りを整理し学習場所を整える。 ・場所や道具の他に、めあても必要であること。
方法	・ねらいにある基本的な学習方法を具体的に例を示す。
学年別	・低・中・高学年別に、学習の例を示す。
記録	・「ちばり用紙」の記録の仕方を示し、記録の例を紹介する。
助言	・家庭で親や家族はどのような立場で家庭学習を見守るか例を示す。
励まし	・家庭学習が授業で生かせるための手だてを紹介。

III まとめと今後の課題

学級経営について仲間の先生方と語り合う中で、何度となく話題になったのが家庭学習の指導であつた。自らも試みてきたが、学級経営全体の中で考える必要があると思っていた。そして研究の
好機が巡って来たことは意義深いことであつた。

学級経営の中で、授業に生きる家庭学習の指導をしていく、子ども達へ動機づけをしていくとい
うことは、研究が進むにつれて日々の学校生活の全体にかかわることだと痛切に感じさせられた。
学級において、学習習慣の形成めざすには学級経営についてまず深く学び、学級経営案を立ててい
く必要がある。それを土台にして、学習指導の機会・学級指導の機会・ノートへの助言・授業の工
夫児童にもたせる学習の技能など多くの指導場面があることがわかってきた。さらに、家庭学習の
動機づけをおこなうには、児童観察の視点と指導の目標を持ち、児童に興味をもたせる方法の工夫
が必要となることがわかった。

自ら学ぶ姿は、今日では生涯学習として個人の生活の一部として求められている。家庭学習の求
められている姿も、広い意味をもつものとなってくる。

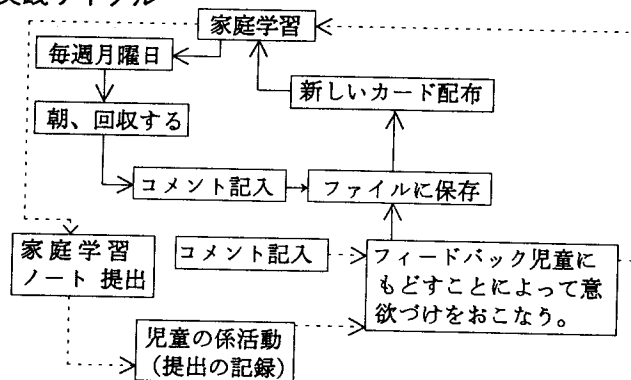
これらも踏まえて、今後の学級経営の中でも、児童が自ら学んでいけるように配慮しなければなら
ない。学校生活の中でいくつかの場面をとらえ、今回の研究がさらに生かせる実践をめざしたい。

<主な参考文献>

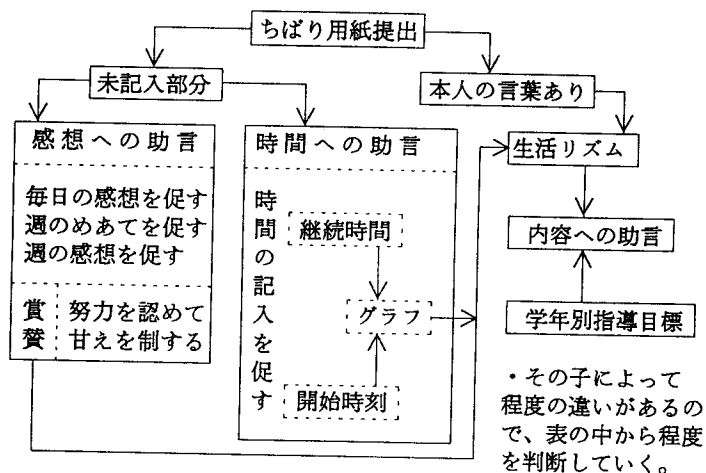
文部省	小学校指導書「教育課程一般編」	ぎょうせい	1989年
文部省	小学校指導書「特別活動編」	東山書房	1989年
細谷・奥田	新教育学大事典 第1巻		
河野・今野 編	第2巻	第一法規	1990年
辰野千寿	家庭学習の知恵・三訂版	図書文化社	1987年
杉山・香川 編	家庭学習・自由研究を生かす指導技術	東洋館出版社	1980年
杉村 健	学習習慣のしつけ	明治図書	1988年
	月刊教育心理第36巻第5号		
	(1988年5月号)	日本文化科学社	1988年
大西忠治	集団教育入門	国土社	1982年

【資料】

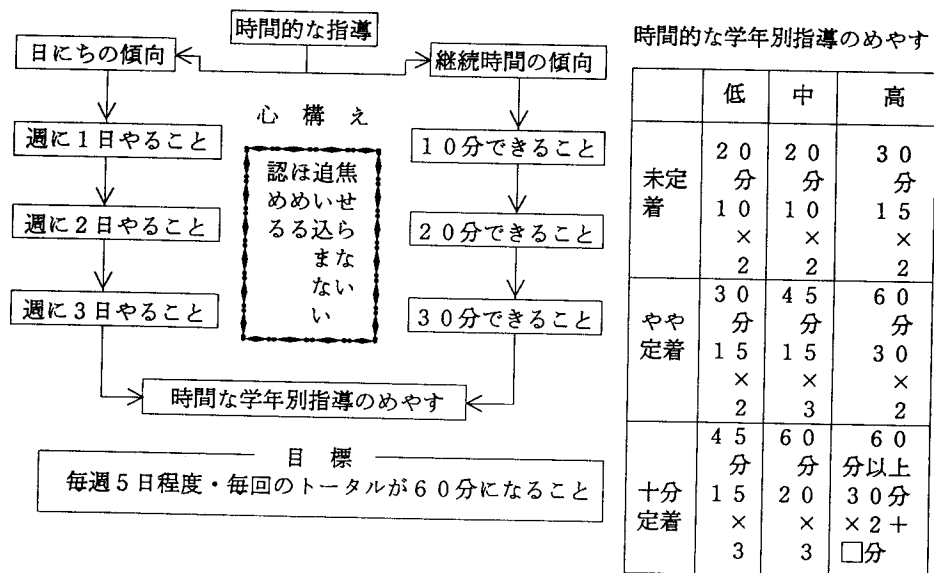
1、ちばり用紙実践サイクル



2、教師からの指導（メッセージの方向）



3、時間についての指導

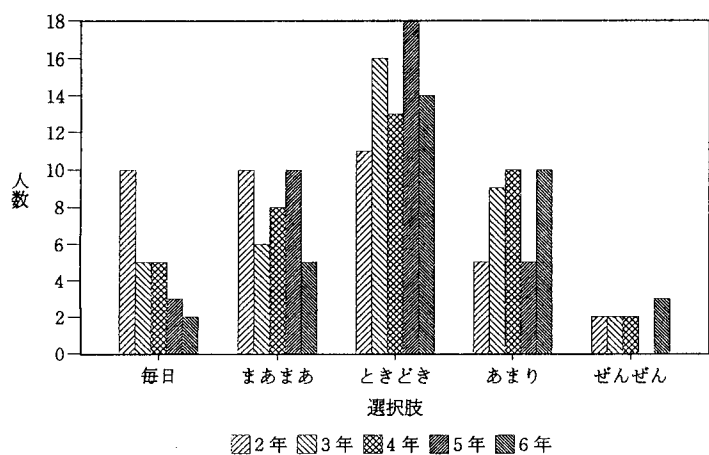


4、家庭学習の学年別指導目標

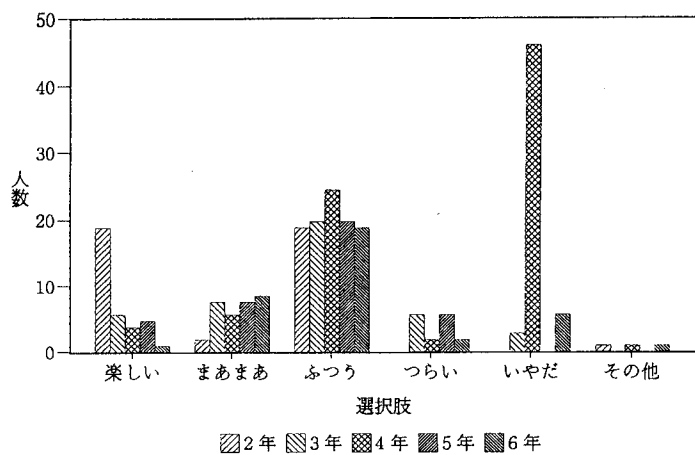
- 48 -

【資料】

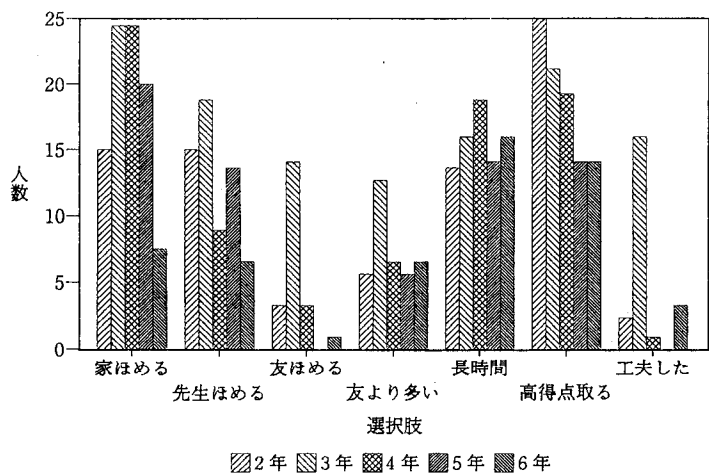
家庭学習の実態（10月）
家庭学習は毎日やっているほうですか。



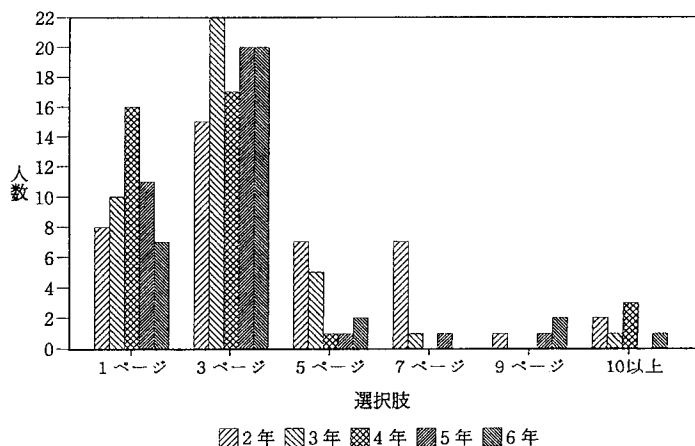
家庭学習の実態（10月）
家庭学習をやっているどんな気持ちですか。



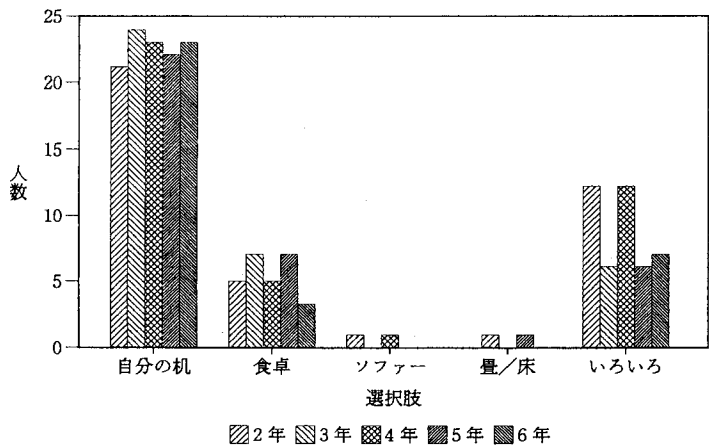
家庭学習の実態（10月）
家庭学習はどんな時に、楽しいですか。



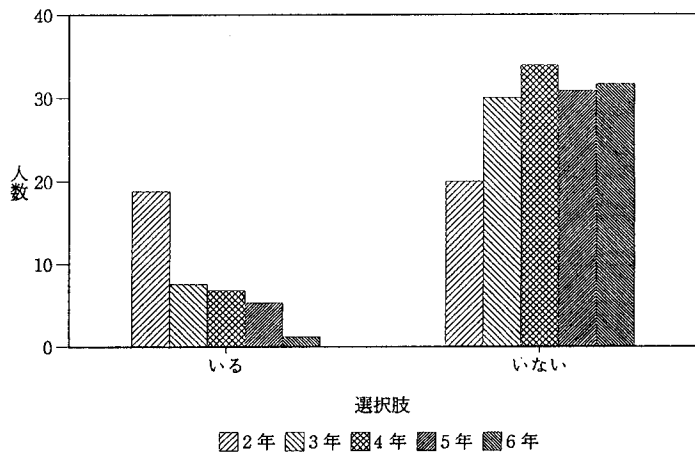
家庭学習の実態（10月）
家庭学習は何ページになりますか。



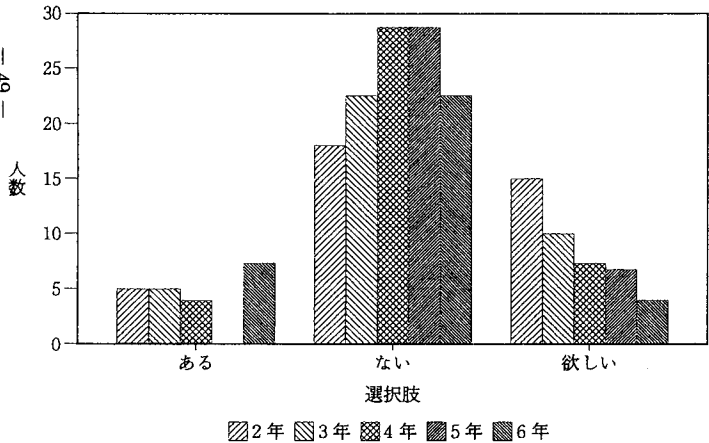
家庭学習の実態（10月）
家庭学習をする場所をきめていますか。



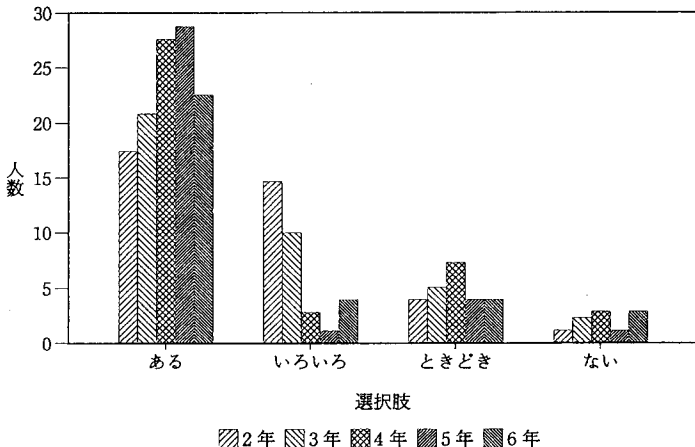
家庭学習の実態（10月）
家庭学習の時、誰か側にいますか。



家庭学習の実態（10月）
家庭学習のしおりがありますか。



家庭学習の実態（10月）
家庭学習のノートは用意してありますか。



【資料】 ちばり用紙の個人変化

家庭学習応援します！						
カード式 ちばり用紙 【個人記録票】						
10月22日～12月17日			児童名 宜野湾市立志真志小学校 5年 21番 氏名 (諸見里 礼奈)			
日付	科目	始めた時刻	(時間)	グ ラ フ	ひとこと感想	
22	休んだ		0分	① 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	休んだのでいけない。	
23	休んだ		0分	① 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	休んだから明日からやる。	
24	国語	6:00	30分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	30分やった、もうちょっと。	
25	算数	6:30	30分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	30分きのうとおなじ。	
26	算数	5:00	20分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	20分きのうよりさがった。	
27	家庭	5:30	50分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	50分すごいしきろく！	
28	算数	6:00	30分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	30分30分エ～ソエソエ	
29	ない		0分	① 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	やってないのでペコ	
30	ない		0分	① 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	すみません今日もやってません	
31	国語・算数		50分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	今日はとってもがんばった。	
11/1	国語		20分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	今日はちょっと20分だよ。	
2	ない		0分	① 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	やってない。	
3	国語		40分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	まあ、がんばった。	
4	ない		0分	① 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	やってない。	
12	算数	朝7:00	20分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	20分算数の勉強がんばったよ	
13	漢字・国語	5:55	30分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	30分漢字国語やってつかれた	
14	国語・漢字	6:00	40分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	40分いつもより10分ふえた	
15	やってない		0分	① 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	やすんだので0分40分へった	
16	やってない		0分	① 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120		
17	やってない		0分	① 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120		
18	国語		30分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	やっと30分になった。	
19			0分	① 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	明日からやるぞ！	
20			0分	① 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	ごめん	
21			0分	① 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	ごめん	
22	国語	10:30	30分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	よるまでたいへんだった。	
23	国語	6:00	30分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	30分がんばったぞ。	
24			0分	① 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	もうちょっと。	
25	0分			① 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	やっていないとってもほんせい	
26	やってない		0分	① 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	あんなことっておきながら。	
27	国語	6:00	30分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	30分かくとく。	
28	算数・漢字	6:00	60分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	なっなんと60分もやったぞ。	
29	漢字・国語	7:00	30分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	30分よしがんばってるぞ。	
30	国語・算数	5:09	60分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	60分お～がんば。	
12/1	漢字・国語	5:55	30分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	30分ちょっとやった。	
2	漢字・国語	6:05	50分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	50分あがった。	
3	漢字・算数	9:00	30分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	30分いがいとまあまあ。	
4	漢字写本国	5:00	30分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	30分そのままゴールへ。	
5	写本	7:00	20分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	ちょっとさがったな。	
6	漢字・写本	6:30	30分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	30分、うん、がんばった。	
7	写本・漢字	9:19	55分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	55分、いままでのさいこうだ	
8	国語	6:31	40分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	40分やったぞ。	
9	国語・算数	5:00	90分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	90分さいこうきろく。	
10	国語・漢字	8:35	40分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	初めの月曜日は40分です。	
11	国語・漢字	6:35	60分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	今日は60分明日は70分かな	
13	国算・漢字	4:00	30分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	予想より10分少なかった。	
14	国語	5:00	30分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	もうちょっと。	
15	国算・算数	5:00	30分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	もうちょっと。	
16			0分	① 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	ない。	
17	国語・理科	6:00	70分	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120	がんばったよー。今日は！	
				0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120		
				0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120		

ちばり用紙



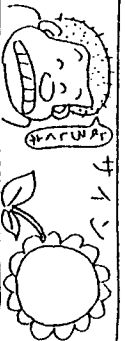
子 留 美 金 和 氏 名 (五) (五) (五) (五) (五)

「理・社・音」などもやる。

科目	時間	開始時刻	終了時刻	科目	時間	開始時刻	終了時刻
国語	7:00	80	120	国語	7:00	80	120
算数	8:00	90	120	算数	8:00	90	120
国語	7:00	100	120	国語	7:00	100	120
算数	9:00	90	120	算数	9:00	90	120
国語	7:00	90	120	国語	7:00	90	120
国語	8:00	100	120	国語	8:00	100	120
国語	8:00	100	120	国語	8:00	100	120
国語	8:00	100	120	国語	8:00	100	120

〔Ⅱをやったので、次は理社をやりたい〕

毎週日曜日には、家の人にも見てもらい、サインをもらいます。



落ち着いたリズムを見ていると
またのたれいびです。工夫していく姿が
楽しみです。

𠂇
 𠂈
 𠂉
 𠂊
 𠂋
 𠂌
 𠂍
 𠂎
 𠂏
 𠂐
 𠂑
 𠂒
 𠂓
 𠂔
 𠂕
 𠂖
 𠂗
 𠂘
 𠂙
 𠂚
 𠂛
 𠂜
 𠂝
 𠂞
 𠂟
 𠂠
 𠂡
 𠂢
 𠂣
 𠂤
 𠂥
 𠂦
 𠂧
 𠂨
 𠂩
 𠂪
 𠂫
 𠂬
 𠂭
 𠂮
 𠂯
 𠂰
 𠂱
 𠂲
 𠂳
 𠂴
 𠂵
 𠂶
 𠂷
 𠂸
 𠂹
 𠂺
 𠂻
 𠂼
 𠂽
 𠂾
 𠂿
 𠃀
 𠃁
 𠃂
 𠃃
 𠃄
 𠃅
 𠃆
 𠃇
 𠃈
 𠃉
 𠃊
 𠃋
 𠃌
 𠃍
 𠃎
 𠃏
 𠃐
 𠃑
 𠃒
 𠃓
 𠃔
 𠃕
 𠃖
 𠃗
 𠃘
 𠃙
 𠃚
 𠃛
 𠃜
 𠃝
 𠃞
 𠃟
 𠃠
 𠃡
 𠃢
 𠃣
 𠃤
 𠃥
 𠃦
 𠃧
 𠃨
 𠃩
 𠃪
 𠃫
 𠃬
 𠃭
 𠃮
 𠃯
 𠃰
 𠃱
 𠃲
 𠃳
 𠃴
 𠃵
 𠃶
 𠃷
 𠃸
 𠃹
 𠃺
 𠃻
 𠃼
 𠃽
 𠃾
 𠃿
 𠄀
 𠄁
 𠄂
 𠄃
 𠄄
 𠄅
 𠄆
 𠄇
 𠄈
 𠄉
 𠄊
 𠄋
 𠄌
 𠄍
 𠄎
 𠄏
 𠄐
 𠄑
 𠄒
 𠄓
 𠄔
 𠄕
 𠄖
 𠄗
 𠄘
 𠄙
 𠄚
 𠄛
 𠄜
 𠄝
 𠄞
 𠄟
 𠄠
 𠄡
 𠄢
 𠄣
 𠄤
 𠄥
 𠄦
 𠄧
 𠄨
 𠄩
 𠄪
 𠄫
 𠄬
 𠄭
 𠄮
 𠄯
 𠄰
 𠄱
 𠄲
 𠄳
 𠄴
 𠄵
 𠄶
 𠄷
 𠄸
 𠄹
 𠄺
 𠄻
 𠄼
 𠄽
 𠄾
 𠄿
 𠅀
 𠅁
 𠅂
 𠅃
 𠅄
 𠅅
 𠅆
 𠅇
 𠅈
 𠅉
 𠅊
 𠅋
 𠅌
 𠅍
 𠅎
 𠅏
 𠅐
 𠅑
 𠅒
 𠅓
 𠅔
 𠅕
 𠅖
 𠅗
 𠅘
 𠅙
 𠅚
 𠅛
 𠅜
 𠅝
 𠅞
 𠅟
 𠅠
 𠅡
 𠅢
 𠅣
 𠅤
 𠅥
 𠅦
 𠅧
 𠅨
 𠅩
 𠅪
 𠅫
 𠅬
 𠅭
 𠅮
 𠅯
 𠅰
 𠅱
 𠅲
 𠅳
 𠅴
 𠅵
 𠅶
 𠅷
 𠅸
 𠅹
 𠅺
 𠅻
 𠅼
 𠅽
 𠅾
 𠅿
 𠆀
 𠆁
 𠆂
 𠆃
 𠆄
 𠆅
 𠆆
 𠆇
 𠆈
 𠆉
 𠆊
 𠆋
 𠆌
 𠆍
 𠆎
 𠆏
 𠆐
 𠆑
 𠆒
 𠆓
 𠆔
 𠆕
 𠆖
 𠆗
 𠆘
 𠆙
 𠆚
 𠆛
 𠆜
 𠆝
 𠆞
 𠆟
 𠆠
 𠆡
 𠆢
 𠆣
 𠆤
 𠆥
 𠆦
 𠆧
 𠆨
 𠆩
 𠆪
 𠆫
 𠆬
 𠆭
 𠆮
 𠆯
 𠆰
 𠆱
 𠆲
 𠆳
 𠆴
 𠆵
 𠆶
 𠆷
 𠆸
 𠆹
 𠆺
 𠆻
 𠆼
 𠆽
 𠆾
 𠆿
 𠇀
 𠇁
 𠇂
 𠇃
 𠇄
 𠇅
 𠇆
 𠇇
 𠇈
 𠇉
 𠇊
 𠇋
 𠇌
 𠇍
 𠇎
 𠇏
 𠇐
 𠇑
 𠇒
 𠇓
 𠇔
 𠇕
 𠇖
 𠇗
 𠇘
 𠇙
 𠇚
 𠇛
 𠇜
 𠇝
 𠇞
 𠇟
 𠇠
 𠇡
 𠇢
 𠇣
 𠇤
 𠇥
 𠇦
 𠇧
 𠇨
 𠇩
 𠇪
 𠇫
 𠇬
 𠇭
 𠇮
 𠇯
 𠇰
 𠇱
 𠇲
 𠇳
 𠇴
 𠇵
 𠇶
 𠇷
 𠇸
 𠇹
 𠇺
 𠇻
 𠇼
 𠇽
 𠇾
 𠇿
 𠈀
 𠈁
 𠈂
 𠈃
 𠈄
 𠈅
 𠈆
 𠈇
 𠈈
 𠈉
 𠈊
 𠈋
 𠈌
 𠈍
 𠈎
 𠈏
 𠈐
 𠈑
 𠈒
 𠈓
 𠈔
 𠈕
 𠈖
 𠈗
 𠈘
 𠈙
 𠈚
 𠈛
 𠈜
 𠈝
 𠈞
 𠈟
 𠈠
 𠈡
 𠈢
 𠈣
 𠈤
 𠈥
 𠈦
 𠈧
 𠈨
 𠈩
 𠈪
 𠈫
 𠈬
 𠈭
 𠈮
 𠈯
 𠈰
 𠈱
 𠈲
 𠈳
 𠈴
 𠈵
 𠈶
 𠈷
 𠈸
 𠈹
 𠈺
 𠈻
 𠈼
 𠈽
 𠈾
 𠈿
 𠉀
 𠉁
 𠉂
 𠉃
 𠉄
 𠉅
 𠉆
 𠉇
 𠉈
 𠉉
 𠉊
 𠉋
 𠉌
 𠉍



香 美 村 仲
氏 名

(5) 三 (4) 提 (3) 整

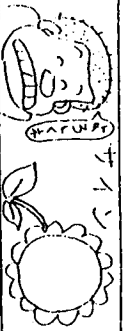
坂 (5) 田 (4)

今週のめあて [土、日、月]

ひことこと ひょうぎ 意思	時間 じかん (分)	はじめた時刻	科目	日付
ひことこと ひょうぎ 意思	5分		国語	11/26
ひことこと ひょうぎ 意思	5分		算数	11/27
ひことこと ひょうぎ 意思	5分		算数	11/28
ひことこと ひょうぎ 意思	5分		国語	11/29
ひことこと ひょうぎ 意思	5分		国語	11/30
ひことこと ひょうぎ 意思	5分		算数	12/1
ひことこと ひょうぎ 意思	5分		算数	12/2

— 100 —

毎週日曜日には、家の人にも見てもらい、サインをもらいましょう。



とても安産していい良いです。
40~60分が一番あっていろいろたの
ーの工夫をしてみよう。楽しんでね。

【資料】 家庭学習の手引き (内容構成図)

目次／このてびきのつかい方かた

表紙：スタートからすすんで、「はい」「いいえ」をえらんで、必要なページをあけて読みましょう。

(スタート)

